

# 新潟県瓦工事業協同組合のお知らせ

## 被災された皆様に心からお見舞い申し上げます

### 【能登半島地震の瓦屋根の被害状況】

1. 瓦屋根が損壊した物件の特徴
  - ・ 築年数 木造築30～40年程度の物件に多い
  - ・ 使用屋根材 J形瓦（日本瓦）が大多数
  - ・ 損壊部位 棟部が大多数
  - ・ 屋根形状 高い（段数の多い）棟  
長い棟の中央部分
  - ・ 構造的要因 壁量の少ない部分に多い
  - ・ 地盤の弱い土地に建っている住宅に多い
2. 損壊した瓦屋根の施工方法と使用材料
  - ・ 粘土（粘土の経年劣化・風化による瓦の固定力の低下）
  - ・ 棟のし瓦（緊結不足によるズレ）
  - ・ 緊結材料（緊結材の劣化による保持力の低下）
3. 被害が少なかった家の条件
  - ・ 耐震性を考慮した施工方法や材料を採用している



### 【今後の対策】

ガイドライン工法（平成13年策定・令和3年改訂）に基づいた棟施工を行う。棟瓦を金具、銅線などにより建物本体部分から固定する。



### 【補修工事について】

私たち瓦業界は総力をあげて屋根補修工事に取り組んでおりますが、現在各事業所で平均40棟の補修依頼を受けております。多いところでは200棟を超え、迅速な対応ができておりません。

- ・ 瓦業界は近年縮小傾向にあったため、各事業所とも最低限の人数で仕事を行って来ました。その為今回の大震災にすぐに対応できる職人の数が不足しております。まだ宿泊施設等が整いませんが被災地では全国の組合員に応援を頼み復旧の体制を急ぎ構築しております。

- ・ 屋根修理用の瓦、副資材（銅線、モルタル）に関しては、十分ではありませんが、徐々に入手できるようになってきました。
- ・ 上記の事情から工事費が通常より上昇していることを御理解の程お願い申し上げます。

※このような現状をご理解いただき、復旧修理についてはお待ちいただけますようお願い申し上げます。

## 新潟県瓦工事業協同組合 加盟店

